

シャープ社友会 栃木支部会報

第47号

nikko

2021. 1. 1 発行
発行責任者 荒田英治

<http://www.tcg-syayu.co-site.jp/index.html>



『薄氷(うすらい)』・矢板市県民の森
撮影：大屋信幸（会員番号：5522）

令和三年の新年を迎えて

シャープ社友会 栃木支部

支部長 荒田 英治

あけまして

おめでと〜ございませす



社友会会員の皆様には穏やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。日頃は社友会活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

輝かしい新年を迎え……と書き出した所ですが、昨年春の第一波から夏の第二波、年末を迎えた段階の第三波と新型コロナウイルスの感染は拡大を続けている有様で、栃木県では足利・佐野・宇都宮地域など県央に集中して感染者が多数発生しており、職域や家庭内クラスターも報告されている様な厳しい状況にあります。

この様なコロナ禍が収束の見えない中で社友会栃木支部の活動も大きく制約を受け、毎年恒例の定期総会を始め予定していた懇親行事や社会貢献活動も殆ど中止せざるを得なくなり、毎月各一回定例で実施していた役員会・幹事会の開催も矢板シャープ敷地内にある社友会室が使えない時期が生じ、役員会を木幡地区の公民館を一時お借りして開催したり、テレワークに切り替えて実施しなければならぬ事態に陥いるなど誠に厳しい状況が続きました。

幸い県北方面では比較的罹患者も少なく、緊急事態宣言が解除された七月以降、各クラブ・同好会の活動は「3つの密(密閉・密集・密接)」の回避やマスクの着用、アルコールによる手指消毒、三十七・五度以下の体温確認などのコロナ対策を心掛けることを徹底する中で、従来の様な活動状況には未だ戻らないものの何とか推進できている事はせめてもの救いと感じている所です。

全世界規模でコロナ禍が蔓延している中、米国と中国が「新冷戦」と表されるほどの関係悪化が続いているたり、世界のリーダー的立場にある米国では大統領選後のトランプ氏からバイデン氏への政権移行が思うように進展しないなど、アメリカ社会の分断も解消の兆しを見せず混沌としている様です。日本国内でも安倍総理の突然の辞任劇があり菅新内閣になるなど世の中の動きに目が離せない状況が続いています。

まずは、このコロナ問題が解決する事への期待をしたいところですが、海外の製薬大手で製造するコロナワクチンが輸入され何れ国内でも使用される予定の様です。超低温で保管管理が必要であるとか、副作用が未だ全て見通せていないなど接種するにあたってハードルは高そうに感じています。

さて、迎えた二〇二二年の四月は社友会栃木支部も新年度を迎え、役員・地域幹事・クラブ同好会幹事の任期満了に伴い二年に一度の改選時期になります。

現在、地域幹事として任に当たって頂いている幹事の皆様には大変、ご協力を賜り感謝の言葉しかございません。新年度を迎える段階で新しく地域幹事をお願いする形になる会員の皆様には何かとご面倒をお掛けする事になりますが、なにとぞ活動へのご協力を宜

しくお願い申し上げます。

私自身、力及ばずながら四年間弱、支部長としての役を担当させて頂きましたが、過去、支部長職を担って頂いた浦川さんをはじめ岩村顧問、増田顧問は少なくてとも連続六年間に亘り支部長を務めて頂いた経緯もあり、この事を受け私も本年の定期総会で皆様の承認を頂ければ、もう一期栃木支部の活動を見守り続けて参りたいものと考えております。

お二人の顧問、三人の副支部長を始め、現役員の方々は私が言うのも何ですが、支部活動について常に前向きに取り組みを進めて頂けており、できる事なら現体制を維持し新年度も活動の継続ができればと願っている所です。

昨年この会報に一言書かせて頂きましたが、社友会栃木支部と「こくみん共済(前の全労済)」とは団体契約を締結しており、自動車保険などを更新される場合「こくみん共済」に切り替えて頂きますと団体割引の特典、及び社友会栃木支部への多少の還付が受けられますので、現在「加入の保険会社の保険料金・条件比較の上「こくみん共済」への切り替えをご検討頂けます様お願い申し上げます。詳しくは「共済ショップ那須塩原店」の窓口担当か支部役員に問い合わせられることをお勧めいたします。

最後になりますが、本年も会員皆さまのご協力を得て社友会活動がより一層意義のあるものとなりますよう新年度以降も努めて参る所存ですので引き続きのご支援、ご協力をお願い申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。



喜寿を迎えて

会員番号 二六一七 和田 宏



この度は、社友会から喜寿のお祝いを頂きまして有難う御座います。厚く御礼申し上げます。なんと早い事か・・・退職後十七年の月日が流れました。今日まで多くの方々に助けられ支え

られ、病気も友達にして活動して参りました。この間、世の中の進歩・発展の速さに驚くばかりと痛感しています。思い起こせば・・・ワイド液晶テレビ30型100万円の時代から50インチ4K有機ELテレビが30万円代で販売されるなど、当時全く想像出来ませんでした。携帯電話も5Gとは何？がスタートし次の6Gが囁かれている事等有りますので、新しい生活について行くように思っています。

これからは、健康寿命にこころがけて参りますので今後の交流宜しくお願い致します。

結びに当たり、社友会皆様の健康を念願致します。ありがとうございます。

会員番号 二六七四 平山 勝



昨年七月に喜寿を迎え社友会より、お祝いを頂き誠にありがとうございました。喜寿のお祝いを頂き改めて自分の年齢を実感致しました。約二年

前迄、福祉施設で働いておりましたが、今は無職の年金生活を過しております。仕事をしていた時は少し長い休みが欲しいと思うことが度々ありましたが、年間を通して休日となると規則正しい生活が出来なくなり、時間を無駄に過ごす事が多くなってきました。妻に尻を叩かれながら規則正しい生活を送ることを心掛けている今日この頃です。

現在は健康を維持する為、週二日の卓球と卓球仲間

に山登りが好きな友人がいる為、ハイキングに適した時期には安全な近くの山を案内してもらい、私も楽しみながらウォーキング気分で行っています。今後はハイキング仲間の様に四季折々の景色の変化を身体に感じられる様、気持ちに余裕のあるハイキングの楽しみ方を教わりながら過ごしたいと思っています。



また、自宅では庭を半分漬し夫婦で家庭菜園を作り、野菜、キウイ、柿、葡萄等を栽培し、時間つぶしをして楽しみなから体調管理をしております。

近況報告を兼ね、お祝いを頂いた御礼とさせて頂きま

人生百年時代と言われている先輩諸氏の元気な活動を見ていますと成程と感ぜられます。振り返ってみれば、山歩き・テニス・卓球・地域活動と楽しんできましたが、ここ



数年は体力の低下を痛感しています。

特に昨年は新型コロナウイルス感染症で地域活動の全てが制限され、夏の暑さが重なり、殆ど家で過ごす毎日

様です。これからは徐々に地域活動が始まってきますので、今迄の運動不足を解消すべく先輩諸氏に見習っていききたいと思っています。

身体的には色々抱えていますがお蔭様でこま

健康に留意し楽しく過ごしていきたいと思っています。



この度は喜寿のお祝いを頂きまして有難うござい

ます。新型コロナ禍の中で迎えた喜寿の日常の生活を記します。退職後十年以上、病

気なしの健康体で過してきましたが五年前に脊柱管狭窄症、四年前に帯状疱疹を患いました。特に帯状疱疹は重症化し、今でもかなりの痛みが続いています。好きな事等、何かしている時は痛みが和らぎます。今はウィズ・コロナで外出自粛、三密対策等、制約の多い生活が強いられております。

そんな状況下ですが、健康と体力を維持すべく、十六年間欠かさずスポーツジム通いを続けています。毎日午前中はジムでウォーキング・ストレッチ・若干の筋トレをし、終りにジム内の温泉に入りリラックスするの

が日課です。頭の体操は将棋・囲碁です。囲碁・将棋はAIとの対局を毎日しており、更に将棋はアベマTVでタイトル戦、及び話題の藤井聡太の対局はほぼ全部見て楽しんで

います。ゴルフも今は週一で仲間と行っており、社友会ではカラオケ・パソコン・麻雀等もお世話になっています。

新型コロナウィルスの治療薬・ワクチンが早期に開発され少しでも元の生活に近づく事を祈っております。

会員番号 三三三九 福永 勝行



この度は、社友会から喜寿のお祝いを頂きまして有難う御座いました。正直言つてこの年齢迄生きられるとは考えてもいませんでした。栃木には二十五才で赴任、二十七才で結婚し、令和二年に五十年金婚式を迎えましたが、人生色々、楽しい事ばかりではありませんでした。山有り、谷有り、マサカ有り、出来る事なら、ハッピーエンドで笑つて終わりたいと思つているのは私ばかりではないでしょうか。

団塊の世代と呼ばれた昭和、及び、平成・令和の三世代を見てきた訳ですが、考え方によつては、戦後の苦勞は有つたものの、良き時代、良き親兄弟・良き友・良き先輩に恵まれたからで、これからも感謝の気持ちを忘れないで過して行きたいと思つています。

私事になりますが、矢板市健康課で歩数計を購入、五月一日から毎朝5km、八千歩を目標にスタートし、最初は十日〜二十日、続けられるか不安がありました。六ヶ月連続(一八〇日)を達成、七十七歳でこの記録を出す事が出来ました。

後期高齢者でも無理の無い計画を立てて挑戦することは可能です。お蔭で中々減らなかつた体重が58kgから55kgに減り、益々元気に過(こ)しています。



矢板市の歩数計

古希を迎えて

会員番号 五四三二 矢板 利一



この度、古希のお祝いをいただきありがとうございます。振り返れば定年後のライフプランを立ててから太陽光発電の取付工事や地域活動では公民館活動、イベント活動、小学校での授業の支援、ボランティア活動の参加、太極拳で体幹バランスの維持や写経では集中力の向上、持続力維持のため登山やトレッキングなど健康を維持しながら趣味の物作り等々、忙しい毎日、あつという間に十年が過ぎ充実した日々が送れました。

これからの十年は体力、気力、集中力の低下が加速してくる中で如何に維持していくかが課題です。今後も今迄のボランティア活動を中心に継続し、特に地域活性化に力を注いでいきたいと思います。社会福祉協議会が推進している第二協議体を確立して、地域で高齢者が生活の中で困っている部分を手助けする協力体制や居場所作り等を地域毎に発足し充実させるための組織的に協議する団体で、泉地区は「ぼっちの会」を結成し活動を始めたところです。

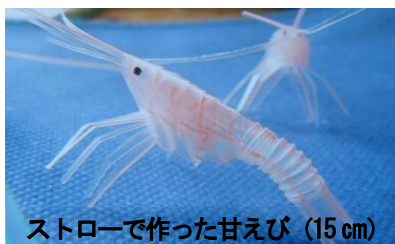
趣味の方では、今迄に八基の五重の塔を作成しましたが全部売れてしまいました。現在は1/20スケール(高さ約1.6メートル)の五重の塔構造模型の作成を途中で止めていましたが、再開し完成に向け試行錯誤しながらやっています。

その他、社会福祉協議会からの依頼で、みんなが作れる一合升つくり講習会や生涯学習課からの依頼による

親子凧作り教室等、モノ作りの楽しさを伝える活動も充実させていきたいと思ひ、現在は金魚提灯やストロークを使って甘えび作りを検討しているところです。これからも忙しい日々が続きます。



作成中の五重塔構造模型 (1.6 m)



ストローで作った甘えび (15 cm)



試作中の金魚提灯 (30 cm)

会員番号 五〇五九 印南 敏雄



この度は古希のお祝いを戴きまして有難うございました。気が付けば定年退職してから早いもので十年が過ぎ、その間はずうっと野菜作りをしています。先祖が残した農場が約10 km離れた所にあり、毎朝決まった時間に出掛けて夕方に向かへる生活です。作った野菜は、道の駅の直売所に販売を委託しています。山間部での野菜作りは毎日が勉強であり、且つ、戦いでもあります。

最初の頃は順調でしたが二〇一一年の東日本大震災で原発事故があり、その後は一変して苦境に成っています。放射能で作物の安全検査、風評被害などで様変わりしてしまいました。今でも半分位しか戻っていません。農場は山間部にあり、東日本大震災後は山菜が放射能汚染で食べられないので、山に入る人が極端に減ってしまった為、野生の動物が里山に下りて来てしまい境界が無くなっている状態で、猿、猪、鹿等が農作物の味を覚えてしまい、常に出没しています。二十年位前は電気柵があれば、野生動物の食害を防げましたが、最近では野生動物の数が増えた為、我先に食物にありつきたいと突進してくるので、防柵は簡単な物では役に立ちません。二重、三重の柵を備える必要があり、日々戦いでもあります。昨年新型コロナウイルスでお客が少なかったのですが、健康に気を付けて元気な内は野菜作りを続けようと思っています。

会員番号 五〇六〇 鈴木 敏昭



この度は古希のお祝いを頂き有難う御座いました。昨年五月に古希を迎えましたがコロナの影響で生活面が色々制約を受け、住みにくい世の中になったとの思いでいました。しかし最近では慣れてきたのか普段の生活では以前とあまり変わらないとも思っています。社会全体では大変な状況が続いているので早い収束を願うばかりです。

さて「会社」を卒業して早十年になることに驚くばかりですが、この間やって来たことと言えば、趣味として手がけて来た「物作り」です。自分で言うのもなんですが、手先の器用さもあり、細かい物作りが好きで、競技用竹とんぼ、バルサ材のグライダー、切り絵、古民家模型、ペン画、木材人形等を制作、仕上がりはそれなりのレベルだと自負しています。

当初は時間も無制限？なので朝から晩まで制作に夢中でやっていたのですが、その結果右腕の肘、指先が腱鞘炎で大変な目に会いました。痛くて物を持つことが出来ず、完治するまで半年から一年もかかり、限界を知りました。今はあまり負担のかからないテーマで程々にしています。近いうちに再度



制作した古民家模型 (台座 30×25 cm)

会員番号 五二二二 河野 順一

時間をかけて少し難しいものに挑戦したいと思えます。手が動き、目が見える内はボケ防止も兼ねて「物作り」を続けたいと思っています。それ以外は下手なゴルフ、雑魚釣り、ウォーキングを楽しんでいます。次は「喜寿」を目指して頑張るぞう！

会員番号 五二二二 河野 順一

矢板に定住以来四十数年、矢板工場が閉鎖され、工場周辺の駐車場はがらんとしています。駐車場には雑草が生えて、昔の様な風景はありません。第二工場、第二工場、第四工場、体育館、社宅、寮周辺も建屋は残るけどひっそり。

定年後は南京シャープで顧問として五年、中国で合計十年間の海外単身生活を謳歌しました。現役時代は一九七五年のオーストラリアSCAを皮切りにインドネシアYASONTA、インドKISIL、中国南京NS ECに現地駐在として勤務、その間、南半球から北半球の旧AV拠点を全て訪問する機会を作って頂いたのは諸先輩のご支援の賜物です。

日本に帰国してからはゴルフと孫の相手中心です。沖繩は飛行機ですが、富士山、佐渡ほかは、どんな時でも車で旅行。今後も矢板で、孫(同居)ではない外孫の成長と皆さんの健康を祈念し、古稀のお祝いのお礼とさせて頂きます。



会員番号 五一六四 豊田 康雄



社友会より、古希のお祝いを頂き、ありがとうございます。定年退職してから、早いもので十年が経過し、時の流れを非常に早く感じております。会社には四十二年間お世話になり、この大半の勤務地は栃木事業所での勤務でしたが、終盤の定年までの約八年間は、三重県の亀山工場への単身赴任勤務となりました。亀山工場では、立ち上げからの事業でしたので、何かと苦労も多かった反面、非常にやりがいもあつたことを思い出します。

退職後は、自宅の水田と畑を相手に毎日の農作業に悪戦苦闘している状況です。特に水田の稲作は、田植え時期と収穫の稲刈り時期は天候に左右されるので、天気予報に一喜一憂しながら、取り組んでいるところです。野菜も多種多様の種類を作り「やいた道の駅」に出荷していますが、野菜を購入されるお客様に出来るだけ満足していただくよう、少しでも品質の良いものが、供出できるように励んでおります。社友会の行事には、なかなか参加できませんが、唯一「ボウリング同好会」に参加して、月一回大田原の王冠ボウルで開催される競技会を皆さんと共に楽しんでいます。今後は、身体の健康維持に努めて農作業に取り組み、旅行やスポーツなどの余暇を楽しんで参りたいと思います。

会員番号 五五三二 大屋 信幸



定年後、何もしないでいると、ぼけてしまうと思事仲間から心配頂きました。定年前の趣味としてカメラ撮影、鮎釣り、三坪の家庭菜園があり、

継続するだけで充分では、と思っていました。しかし、これらの趣味は普段一人で言うので、人と人の関わりが無く不安を隠せないものでした。社友会のクラブに参加、人と人の関りが出来るのでは、との思いで『歩こう会』『カメラクラブ』に参加しました。(歩こう会は途中で脱落) 古希を迎えるにあたって昨年はプロフォトセンター写真コンテストで『グランプリ』を頂きました。諸先輩が手に出来なかった栄冠を受け取り感謝しています。雪が少なく、寒波も少ない年で、狙った短い時間が私にご褒美をくださいました。写真は自分が思った結果を再現させる楽しさがあります。

最近、撮影している設定方法の一部を紹介します。『主体を明確にし、周りをソフトに彩る表現にする』

- ① 絞りF1.4の明るい短焦点レンズを使用する。
 - ② レンズの絞りをF1.4(開放)にして主体に最短距離で近づく。
 - ③ バックはピントが合わないのでソフトに表現でき、且つ色彩的に主体を飾る様配置する。
 - ④ 手前にも色フィルターがかかるように花などを配置する。
- この様な目的に合った場所を探してカメラを構えてシャッターを切る。

会員番号 六三三三 黒川 明雄



の同期生で旅行を兼ねた行事がありました。還暦の時

先日は「古希祝い」をいただき感謝申し上げます。昨年六月で満七十歳になりました。私のふるさと(秋田)では還暦や古希などの節目のお祝い事は、数え年で行う習慣があり、一昨年六月にふるさとでの中学

は、まだリタイアしていなかったこともあり、大きな節目とは感じることはありませんでした。唯一ポールのトルン在住でしたから、駐在員一同と取引先のトルン在住者で祝っていただきました。この時はまだまだ若いという思いで五十歳代の延長という感じでした。しかし、七十歳の古希は体力的にもゴルフのボールが飛ばなくなり、関節の痛み、視力の低下、高音の聞こえ難さ等々、年齢を感じることも多くなり『ああ高齢者の域に入ったんだなあ』と思うようになりました。

そんな七十歳の私の日常は、毎朝のウォーキングに始まり、朝刊を読み、テレビのワイドショー、スポーツ番組を見たり、たまには読書をしたりして過ごす毎日です。そして時々若い頃に登った山へ登山に出掛けることもあります。また、車を利用した旅行、電車や飛行機を使った国内旅行などをして過しています。



しかし、昨年はガラッと変わってしまいました。コロナウイルスという経験したことのないことが起こり、糖尿病の既往症もあることから自粛の毎日でした。早くワクチンなどの対策が出来て自由に動き回れる当たり前の世の中がやってきてほしいものです。後期高齢者になる前の貴重な時間を大切に有意義に使っていききたいと思うこの頃です。

幹事コーナー

「新幹事になって」

第四班 菊池 英秋



定年退職後十一年になりましたが、この間、社友会栃木支部独自行事には一度も参加した事が無く、社友会の方々と接する機会がありませんでした。昨年四月から第四班さくら市・高根沢地区の幹事を担当することとなり、これからは社友会の一員として支部活動に極力参加していこうと思っております。矢先新型コロナウイルス問題で幹事会に参加することが困難な状況となり、四月、五月、六月の三ヶ月間、参加することが出来ませんでした。

この様な状況にて、この三ヶ月間は新幹事として何も分からず不安が募るばかりでした。その様な中「緊急事態宣言」が解除されたこともあり、七月の幹事会が予定通り開催されることとなり、ここで初めて社友会の役員及び幹事の皆様にお会いすることが出来、皆様色々な分野で活躍されており、すごく生き生きしている姿を見て本当に驚きました。私もそうなりたいと大変勇気付けられました。

これから社友会新幹事としてスタートするにあたり、会員の皆様に十分行き届かない面もあるかと思ひますが、会員との親睦を大切に、楽しく努めて参りたいと思っております。



「二〇二〇新型コロナを顧みて」

第八班 熊谷 利夫



人生で忘れられない年「二〇二〇」も残り少なくなりました。我々団塊の世代は過酷な現役時代を終え、退職後第二の人生をゆつくり楽しみながら日々を送り、人生の終盤に差し掛かった矢先にこの世界的流行の「新型コロナ」に遭遇、残念でなりません。特に我々七十歳以上の高齢者は多かれ少なかれ持病を持っており、一旦感染すると重篤化し死に至る確率が極めて高く、これが一般のインフルエンザと異なり最大の難敵です。

その様な中、今回「幹事の近況」等の原稿依頼が有り、書く事が余り無く少々困惑しました。状況的に社友会の皆様方もそうだと思いますが、実家の父母・親戚の法要や結婚式にも行けず、遠く離れた所にいる孫にもなかなか会えません。計画していた旅行、映画やイベント、また、健康維持には欠かせない温泉にも三月以来遠のいています。今は家から「七里四方」の行動範囲で最低限必要な買い物等を中心に静かに暮らしています。

情報では「新型コロナ」に感染し隔離・入院すると当分家族には会えず、最悪、死に至っては遺骨のみが帰ってくるとの事（今はどうか不明）。その様な事からも今は毎日の行動先のメモ含め「日誌」を付ける様心掛けています。行動範囲が狭い事から家にいる時間が長く、妻との言い合いも多くなっていますが、家庭菜園、庭の様替え、家のメンテ、体力作り等を無理せず少しづつやっております。その中で最近特に「断捨離」の再見極め、更に「終活」等々の身の周りの整理を計画的にやる

が増え、これは逆に「新型コロナ」の恩恵かも知れません。唯、この状況が二三年更に続く事も覚悟しなければならず、本当に不遇な時代です。これから冬期に入り更に感染者の増加が考えられ、欧州、米国含め世界的に更に増加している現実の中、我が国の色々なキャンペーンは脚光を浴びており、春頃の「緊急事態宣言」は一体何だったのか・・・。若い人は良いが、我々団塊の世代は当面「国の重荷」の様に感じます。いずれにしろ早く「重篤化」を防ぐ薬とワクチン接種で気軽に何処にでも出掛けられる日が来る事を祈りたいです。

シニア世代が気を付けたい
【新しい生活様式】

<p>一行動ごとに水分補給</p>	<p>時間を決めて三食食べる</p>	<p>ラジオ体操でフレイル予防</p>	<p>電話再診も活用</p>
<p>買い物は空いている時間に</p>	<p>ラッシュ時の電車は避ける</p>	<p>オンラインで冠婚葬祭</p>	<p>定期的なオンライン帰省</p>

出典元: LIFULL

「ママチャリ周遊記」

第十二班 河野 孝司



要時間は約四十分程です。

いずれの地区も、昭和四十二年頃、矢板市が早川電機に『早川町』の地名を授けて、後に液晶テレビ生産で全盛を極めるCTVの工場を誘致した際、大阪からの多くの転勤者が家を構えた地区です。ペダルを踏む足も軽やかに、荒井地区の五戸を終え南下すると右手に、サッカー強豪校で全国に名を轟かせる『矢板中央高校』が見えて来ます。春は校庭の桜が見事で楽しみながら移動します。針生Aの四戸の次は、さらに南下し足利銀行の十字路を左折します。十分ほど走ると、つつじで有名な『長峰公園』が見えてきます。



そのつとつとと花見客を尻目に、針生B、C地区を回ります。帰り足は、ペダルも重くなり、夏は汗だくで家に戻ります。冷えた缶ビールがたまらなく、カロリー消費は帳消しとなってしまいますがやめられません。

新入会員紹介

(令和二年三月〜九月入会者)

会員番号 七〇六五 星野 潤三



令和二年の三月に定年退職し、社友会に入会させて頂きました。海外志向もありましたが、基本的には栃木での信頼性管理業務に従事していました。今後は、コロナ禍の状況を見ながら再就職する予定です。今後ともよろしくお願い致します。

会員番号 七〇七二 瀬畑 功



昨年三月二十二日にシャープエネルギーソリューション株式会社 施工サポート推進部 東品川を定年退職し、この度社友会へ入会致しました。社友会活動の日程の都合がつく行事には、是非参加したいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。

会員番号 七〇八八 森 淳二



昭和五十四年に入社（ビデオ才事業部）し、平成・令和と勤め、AV機器全般（ビデオ、DVD、BD、TV）に関わってきましたが、昨年七月に定年を迎え、社友会に入会させて

頂き、早速ボウリング同好会に入会させて頂きました。これからは、余暇をボウリング、映画鑑賞の趣味を柱として生活していきたいと思えます。

栃木支部の海瀬元之氏が

市政功労者表彰を受賞!



令和二年十一月一日（日）矢板公民館で市政功労者に対する表彰式が行われ、矢板広報にも掲載されました。

受賞された皆様は長年にわたり、各分野で活躍された方、篤行に優れた方で市長からこれまでの功績に対する感謝の言葉と共に表彰状が手渡されました。

表彰式では各種奉仕活動の分野で篤行に優れた方として社友会栃木支部会員の海瀬元之氏が表彰されました。



前列左側から2人目が海瀬元之氏 中央は斉藤矢板市長

ビデオ生産立ち上げ時の思い出

会員番号 三四四 永橋 肇



昭和五十二年、新たな事業（VTR）の立上げに向け、緊急プロジェクトA112メンバーが矢板事業所に集結し、苦勞して業界初のフロントローディング方式VTRを立ち上げた時の思い出を述べさせていただきます。

◆その成り立ちは・・・
昭和五十二年、在阪のビデオ開発部隊へ緊急プロジェクト（A112）の結成と栃木工場での生産（事業化）の指示が下りました。翌春、急遽大阪から約五十人の緊急プロジェクトメンバー、そして広島、八尾からも関係者が矢板で合流し、受け入れ側の栃木メンバーと一体になり、それこそ寝食を忘れて開発の継続と生産準備に取組みました。

当時は、環境、経験の異なる若い人が中心の部隊でしたので、コミュニケーション確保とモチベーション維持にリーダーは苦心された事と想像されます。

下の写真はプロジェクトチーム初の懇親会で中禅寺湖へ一泊旅行した時に湖畔で撮影したものです。

◆開発秘話・・・

当時、ポツポツ式VTR商品は松下、ソニー、ビクターから既に市場に出ていました。それだけに、このシャープ製一号機にどのような特徴をつけるべきか開発メンバーは大変悩んでいましたが、テレビとの親和性を最優先として、カセットを前面から挿入するフロントローディング方式を開発しました。その他「一発頭出

しAPSS」機能や「低ジッター真鍮ドラム」の採用、また、当時では珍しかったマイコンの採用等、業界初の機能、技術を多数盛り込みました。



昭和53年秋 チーム初の懇親旅行



工場見学者向けの案内ビデオ（昭和55年頃）

◆シャープ製一号機は・・・
昭和五十四年（1979年）にフロントローディング方式採用で『ビデオはテレビの下に置く』という業界常識を作った「マイビデオV1」マイコンを搭載した多機能の「同V2」更に同年秋には、使い易さを追求し、同時に十五万円という低価格を実現した「マイビデオV3」が大ヒットし、当社シェアはたちまち二桁に乗りました。

◆そしてその後・・・
緊プロA112は、その後、発展的解消となり、新生ビデオ事業部に吸収されました。ただ、誠意・創意・熱意などのDNAは後々までも引き継がれ、ビデオ事業部の礎となり、後々の「液晶ビューカム」創出にも繋がったと思います。

◆お礼・・・
本稿作成に際し写真提供、思い出話提供など、多くの方にお世話になりました。



フロントローディングVTR
マイビデオV3「VC6080」



元A112チームの歓送会に久しぶりに集合した元メンバー達

パソコンクラブ

Personal Computer Club

Established in 2001

2020年7～12月の主な活動内容

- ・ホームページ内“会議室”を活用し、会員間の情報共有と意見交換を実施
- ・定例会・勉強会をコロナの感染状況に配慮し、社友会室又はオンライン会議で実施
- ・ExcelについてYouTubeを活用し再学習
- ・ホームページの活動報告書及び会報のクラブ紹介ページの編集作業を実施

《トピックス》

コロナ感染防止を考慮し、冬季には在宅で“Skype”を使用し、定例会・勉強会を実施



パソコンの知識と技量を深める場として毎月定例会と勉強会を行っています。最近では、パソコンに加えてスマホなどデジタル機器の話題も扱っています。

定例会
毎月
第1水曜日
午前10時～12時

勉強会
毎月
第3水曜日
午前10時～12時

会員募集中

入会案内・問い合わせ先

会長：佐藤壽行 ☎ 0287-44-3377

事務局：永橋 肇 ☎ 0287-43-5199

※定例会、勉強会の見学は大歓迎です。



《会員紹介》

総会員数17名

浦川正司	徳田 浩
安東郁哉	山崎一義
福本英之	古市正昭
飯野一男	高萩紘二
平山 勝	郡司忠一
佐藤龍雄	永橋 肇
青木正和	佐藤壽行
津田 功	廣田哲男
磯島和美	



2020.1 新春定例会参加者

ゴルフ同好会



◇ 活動状況

活動も新型コロナウイルス感染拡大防止の為、3月以降の開催はハーフコンペ新ペリア方式の競技(9ホールの結果で順位決定)に変更し実施しました。和気あいあいの中でも、熾烈な争いを繰り広げ楽しく活発に活動しています。同好会では、新しい人からベテランまで、会員相互の親睦と健康増進を目指し、楽しいゴルフの推進を図って参ります。

ゴルフを始めた人の参加 大歓迎です!!

定例コンペ	第123回	第124回	第125回
開催日	7月10日(金)	10月23日(金)	11月18日(水)
開催コース	矢板GC	喜連川CC	千成GC
参加人数	40名	34名	34名
優勝	河越 泰博 (34.2)	徳田 義文 (33.6)	丸山 昭治 (33.4)
準優勝	藤田 桂一 (35.8)	中野 武久 (34.8)	小川 廣志 (35.0)
3位	白川 寿 (36.0)	針原修五郎(34.8)	中野 武久 (36.0)
4位	廣島 好美 (36.4)	岩村 博 (35.0)	合田 研 (36.2)
5位	岡崎 忠 (36.6)	廣島 好美 (35.0)	徳田 義文 (36.4)
6位	法田 嘉明 (36.8)	野澤 英男 (35.8)	山下 栄三 (36.8)
7位	山口 重一 (37.0)	法田 嘉明 (36.0)	郡司 一巳 (36.8)
8位	合田 研 (37.2)	河越 泰博 (36.0)	針原修五郎(36.8)
9位	山口 英吉 (37.2)	安部 敏行 (36.0)	前野 雄二 (37.0)
10位	網野 正輝 (37.4)	成瀬 常明 (36.0)	川村 昇 (37.0)
ベストグロス (コース毎)	丸山 昭治 (39) 辻 勉 (39)	徳田 義文 (36.) 河越 泰博 (42)	成瀬 常明 (41) 河越 泰博 (42)

123回入賞者



白川氏 河越氏 藤田氏

124回入賞者



針原氏 河越氏 徳田氏 中野氏

125回入賞者



小川氏 丸山氏 中野氏 河越氏



第125回 千成コンペ集合写真

◇ 今後の定例コンペ日程

コンペ	予定日	備考
第126回	21年3月	別途案内
第127回	21年5月	別途案内
第128回	21年7月	別途案内

《新会員募集》

- * 入会金 : 無料 * 年会費 : 無料
- * 定例コンペ : 年間 5回実施 5月、7月、9月、11月、3月
- * 連絡先 : 幹事 今泉正男 ☎ 0287-44-1073

eメール : m_jed_imaizum@yahoo.co.jp

歩こう会

◇ 歩こう会のご案内

- ☆県内、又は近県の山、溪谷、湿原などの景勝地へのトレッキングを行っています
- ☆定例会としては難易度が初心者向き、一般向きのコースで年6～7回実施、歩行時間は4時間程度
- ☆有志例会としては定例会で訪れるコース開拓と、会員の登山レベル向上を目指し日本百名山等の本格的な高山や夏山での合宿登山を適時実施しています



谷川岳にて
(8/10 9名)

◇ 令和2年度活動状況

- ・有志会：秋田県 秋田駒ヶ岳 (9/27 4名参加)
- ・有志会：福島県 滝川溪谷 (11/14 13名参加)



◇ 令和2年度 定例会 年間計画と実態

- ・新型コロナ問題もあって3蜜を回避すべく小型バス利用をやめ、乗用車利用に変更して計画した行事も雨天のため中止せざるを得なくなり、当初予定の三つ峠山(5月)、切込湖・刈込湖(7月)、磐梯山(8月)、立山(9月)、赤川溪谷(10月)など全て実施できませんでした。
- ・定例会が設定できない状況から、本年度に限り年会費を半額の1,000円と致しました。

定例会	実施予定 月日	行先 と 山名	概要・ポイント
第129回	R3年 1月21日(木)	茨城県高萩市 高鈴山	軽登山と漁港で食事会
第130回	3月25日(木)	栃木県鹿沼市 岩山	低山の岩登り名所

◇ 令和2年度 有志会活動 (4～11月分)

- ・蒲生岳 / 戦場ヶ原(6月)、雄国沼(7月)、御嶽山 / 谷川岳(8月)、八幡平・秋田駒ヶ岳(9月)、瀬戸合峽(10月)、滝川溪谷(11月)の8回実施
- ・難易度の比較的低い山歩きについては、定例会メンバーにも積極的に行事内容を案内、参加者を募って定例会に代わる活動を開催しました。

◇ 運営 組織：[顧問] 松本 隆 [会長] 荒田 英治 [副会長] 矢板 利一 [会計] 前川 健治
[会計監査] 赤塚 忠明

◇ 会員の募集：歩こう会役員まで連絡ください。年会費2,000円(10月以降の入会は1,000円)
◇ 会員数：令和2年11月現在 登録会員数 31名(この他に家族会員6名)

●連絡先 荒田 英治 TEL 0287-37-3298 / 090-1121-1522
e-mail : earata@olive.ocn.ne.jp

カメラクラブ

《新会員募集》 撮影会、講評会 体験参加者募集

・連絡先 幹事：大屋信幸

TEL: 0287-43-5806 e-mail: n0y8a@eagle.ocn.ne.jp



◇活動状況

- ・8月12日(水)撮影会：奥日光、湯ノ湖で実施。・日光清流清湖フォトコンテストに焦点を合わせました。
- ・10月10日(土)「矢板にぎわい館」の観光案内所にカメラクラブから写真4点を展示しました。
画題『初雪』只友将弘、画題『荒天瞬光』志賀 実、画題『春の訪れ』大屋信幸、画題『薄氷(うすらい)』大屋信幸、の4点を展示しました。矢板の写真クラブ「道草会」と2ヶ月置きに入れ替え展示予定です。
- ・10月30日(水)合同撮影会：新型コロナウイルス対応でマイクロバスの座席間隔をあける必要がある為、参加者分の座席数確保が難しくマイカー分乗対応を行いました。カメラクラブは参加予定者が通院等で集まらず欠席しました。

◇写真コンテスト入選・入賞作品介绍：社友会ホームページに掲載しています。クラブ員の力作を堪能してください。

※2020年は新型コロナウイルス対応のため、催しが軒並み中止になり、主な写真コンテストも中止になっています。

◎2020プロフォトセンターフォトコンテスト：フジカラープロフォトセンター主催。

応募者数288名、応募総数1,582点のフォトコンテストで、大屋会員が2020年は“グランプリ”を受賞。(2019年は金賞を受賞)

・月刊フォトコン9月号
金賞：『ひと休み』貝増弘行

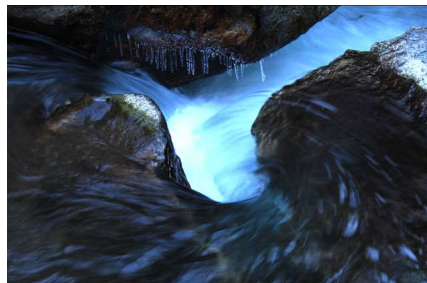
・2020プロフォトセンターフォトコンテスト
グランプリ：『薄氷』大屋信幸



第24回総合写真展・公益財団法人
国際文化カレッジ
秀作：『春まだ遠く』只友将弘

・月刊CAPA10月号
入選：『生きる』志賀 実

・月刊CAPA12月号
2席：『それぞれの秋』貝増弘行



◎ その他の写真コンテスト入選・入賞作品：社友会ホームページに掲載していますのでご確認ください。

◇令和2年度活動計画

- ・定例会は13時～15時、城の湯ふれあい館、及び片岡公民館で実施
- ・R3年 1月10日(日) 新年合同講評会(矢板フォトクラブ、片岡写真教室)、特別講師招待
- 2月10日(水) 撮影会：冬景色撮影。塩谷町、東古屋湖
- 3月10日(水) 定例会：基礎研修、各自作品の講評

《新会員募集》 ◇会員数：10名 ◇年会費：3,000円(中途入会 無料) ◇体験参加可能

◇連絡先 幹事：大屋信幸 TEL:0287-43-5806 *e-mail: n0y8a@eagle.ocn.ne.jp



カラオケ同好会



< 入会申込・問合せ先 >

会長：福永 勝行
(TEL) 0287-44-1109
事務局：青木 正和
(TEL) 0287-44-1332

♪♪ 新規会員募集中 ♪♪

コロナ禍では生活、仕事、遊び方に至る全てに於いて、状況は一変し、我々を取り巻く環境がガラリと変わりました。カラオケ同好会では、コロナ対策のしっかりとした店を選び、7月から新しいメンバーも増え、再開し交流を深めています。ワクチンが出来る迄、辛抱、我慢の根比べ。細心の注意を払って克服したいものです。家に籠っていないでストレス発散出来るのはカラオケが一番の良薬です。

体験参加も常時受け付けておりますので、社友会会員皆様の参加、入会を心から願っています。

♪♪ 定例会活動状況 ♪♪

実施日	実施場所	参加者	トップ賞	曲名
7 / 14 (火)	まねきねこ	9名	郡司	湯西川
8 / 4 (火)	〃	7名	郡司	会津追分
9 / 1 (火)	〃	7名	安藤	夫婦一生
10 / 13 (火)	〃	9名	安藤	酒場の噂
11 / 10 (火)	〃	8名	郡司	紙の鶴
12 / 8 (火)	〃	7名	郡司	さよなら列車



マスク着用での10月度カラオケ定例会参加者



10月度「まねきねこ」大田原店での定例会



10月度「まねきねこ」での定例会

定例会で熱唱中の会員



♪♪ カラオケ好きの皆さ〜ん ♪♪

カラオケ採点機能で満点にチャレンジしてみませんか！
まだ、満点が出た事は、ありません。

<< 2020年の最高得点 >>



< 同好会会員 >

《計》28名

福永勝行	青木正和	津田 功	古市正昭	村上五十六	島田次秀
安藤八郎	佐藤壽行	磯島和美	三堂地時臣	城本 昭	郡司忠一
掛下法示	津久井秀一	手島正典	岩谷秀勝	徳田 浩	浦川正司
福本英之	細川美生	佐藤賢二	村上サダ子	笹原幸子	古市和子
大島栄理子	黒須美江子	大谷邦子	八性美代子		

グラウンド・ゴルフ同好会

◇グラウンド・ゴルフ同好会の活動

- 健康と技量向上及び親睦増進を目的に週3日シャープグラウンドにて練習
(毎週 月・水・金曜日、但し第2、第4週は水→火曜日)

- 競技大会を年間8回開催
令和2年(8月～12月)の競技大会結果



[2020年12月第37回定例大会]



大会名	第35回定例大会	第36回定例大会	感謝デー大会	第37回定例大会
開催日	R2年8月11日(火)	R2年9月28日(月)	R2年11月18日(水)	R2年12月8日(火)
参加者	36名 (男23、女13)	33名 (男18、女15)	34名 (男21、女13)	34名 (男23、女11)
優勝	村上 金吾 (0) 77 青木 禮子 (1) 77	和田 堅治 (0) 75 関谷 スミ子 (0) 80	大町 英雄 (4) 72 江連 あけみ (0) 74	原田 博美 (3) 74 吉澤 満子 (5) 75
準優勝	吉澤 実 (0) 77 渡辺 キヨ子 (2) 82	原田 博美 (0) 77 吉澤 満子 (3) 83	藤原 勇 (1) 75 鈴木 晴恵 (3) 81	古河原 弘 (0) 77 関谷 スミ子 (4) 83
第3位	藤原 勇 (0) 80 櫻井 義子 (1) 83	加藤 康雄 (0) 79 柏原 喜美代 (2) 84	原田 博美 (2) 78 関谷 スミ子 (3) 82	藤原 勇 (3) 78 阿部 涼津子 (0) 84
第4位	須藤 利夫 (0) 80 関谷 スミ子 (0) 85	吉澤 実 (2) 81 櫻井 義子 (2) 84	佐藤 実 (0) 78 櫻井 義子 (2) 83	須藤 利夫 (0) 79 江連 あけみ (0) 84
第5位	原田 博美 (0) 81 鈴木 晴恵 (3) 86	古河原 弘 (0) 82 阿部 涼津子 (0) 85	吉澤 実 (2) 79 柏原 喜美代 (3) 84	和田 堅治 (3) 80 櫻井 義子 (2) 88

32ホールストロークプレー(8ホール×4ラウンド)NETトータル、()内の数値は付加ハンディキャップ
 < 成績上位者 >

	第35回	第36回	感謝デー	第37回
男子				
女子				

◇新規会員募集中

年会費 : 1200円 入会金なし
 入会申込先 : 後藤 謙輔 TEL 0287-37-0368 e-mail xxpth079@ybb.ne.jp



健康麻雀同好会



健康的な麻雀を通じ、頭脳と指先の活性化による老化予防と会員相互の親睦を図る場として、ゲーム感覚で和やかな競技を楽しむことをモットーに同好会を発足してから5年が経ちました。ただ昨年は、残念ながら新型コロナウイルス感染問題の影響で、3月～6月の4ヶ月間は競技会を中止、7月に再開後も9月末までは室内での食事禁止などの制約がありました。10月からは食事制限も緩和されましたが、マスク着用・消毒などの徹底を図りながら、毎月の第1金曜日にオープン戦(ねんりんピックルールで)、第3金曜日には定例公式競技会(シャープルールで)を実施。17名の会員の他、時には客員を迎え熱戦を楽しんでいます。

◇ 活動状況

実戦のあった2020年7月～12月の月度競技会の成績(トップ3の会員名と得点)は以下の通りです。

定例 競技会	第 54 回	第 55 回	第 56 回	第 57 回	第 58 回	第 59 回
開催日	7月17日	8月21日	9月18日	10月16日	11月20日	12月18日
開催場所	ハッピーハイランド矢板自治公民館(通称:ハッピー会館)					
参加人数	13名	12名	12名	12名	12名	17名
< 総合順位 >			()内数字 ; 獲得点数			
第1位	岩村 (700)	青木 (436)	岩村 (885)	青木 (506)	岩村 (686)	千葉 (1118)
第2位	青木 (323)	佐藤 (279)	佐藤 (489)	岩村 (317)	佐藤 (332)	川村 (514)
第3位	千葉 (256)	浦川 (234)	中山 (342)	川村 (210)	鈴木 (296)	安東 (476)
役満	達成者なし					

【 2020年度年間総合順位 】 中間成績報告

2020年度の「4月～12月」9ヶ月間(4月～6月は中止)の中間成績順位(得点合計)トップ3は次の通りです。

第1位 岩村さん(2360) 第2位 佐藤さん(1001) 第3位 青木さん(915)

あと3ヶ月、まだまだ全員に年間チャンピオンの可能性があると思って頑張りましょう!

コロナ対策



新型コロナ何するものぞ! 今回も楽しめました!
(2020年10月 第57回定例会)



マスク着用と消毒の励行!



牌もアルコールで洗牌!

《 新会員募集中 》

- * 入会金 : 1,000円 * 年会費 : 1,200円 * 毎回の場所使用料 : 100円～300円/人
- * 定例会 : 毎月第3金曜日/オープン戦 第1金曜日 * 場所 : ハッピーハイランド矢板自治公民館等
- * 連絡先 : 事務局 佐藤龍雄 ☎:0287-43-0425 eメール; sato-t8@kjc.biglobe.ne.jp



太極拳同好会



活動状況 / 練習方針

- * 最近、ヨガの人気の高まっており、当同好会でも真向法(和製ヨガ)を行っていますが、会員の中からさらに奥深いヨガの実施要望があり、ベテラン会員がヨガ講師になり太極拳の準備運動として各種ヨガポーズを練習し柔軟性を高めています。会員の中には180度開脚が出来る様になった会員もいます。
 - * 昨年から体験参加者が増えていますが、体験参加者が現会員の動作を見て臆する事無く、入会を躊躇しない様、初心者には別グループで基本動作を練習してから一緒に練習が出来る体制を作りました。
 - * ベテラン会員の方にはさらにレベルを高め、太極拳の内容を広げます。(正宗太極拳、扇、剣等の練習)
 - * 今後は真向法とヨガで体幹を強化し、太極拳の姿勢が無理なくできるよう機敏性、体力を高め、初級から上級太極拳へと徐々にレベルを高めていきます。
- (初心者にはすぐに中級レベルへの完成度は求めず、時間をかけ基本動作を習得出来るようにします)
- * 同好会活動期間も5年以上になり、会員の動作レベルも上がり、初心者指導出来るレベルのベテラン会員もおり、太極拳講師の層の幅も広がり、体験参加者が安心して入会出来る環境が整って来ました。

新規入会者には別グループで手厚く指導します！



◆ 練習会の内容

- ・練習は大田原市生涯学習センター(大田原市役所の近く)にて毎週月曜日に実施しています。
- ・現在、中級太極拳習得を希望する会員のみ、正宗99式、楊式40式太極拳を練習しています。

最近練習会に参加している会員					
廣田 哲男	才津 宣義	山本東洋治	青木 正和	黒川 健一	矢板 利一
矢板 ミヨ	鈴木 光典	鈴木 文代	薄井 昭子	黒崎真美恵	



メンバー全員で扇の下刺ポーズ



生涯学習センターでの太極拳練習



協力:龍志なでしこ会
 講師:廣田 哲男
 ☎ 070-4315-5330

【入会申込・問合せ先】

会 長 : 山本 東洋治
 会 計 : 矢板 利一
 事務局 : 才津 宣義
 (TEL) 0287 - 29 -1567

【入会案内】

- ・ 練習場所 : 大田原市生涯学習センター
- ・ 練習日時 : 原則的に毎週月曜日午前10時~12時
- ・ 服 装 : ジャージ等、動きやすいものを着用する
- ・ 履 物 : 室内用シューズ(個人で持参)を使用する
- ・ 会 費 : 1000円/月
- ・ 入会方法 : 入会希望者は事務局へ電話して下さい

★ 新規会員募集中！1ヶ月体験参加出来ます

ボウリング同好会

11月現在、会員数 30名(会員22名、客員8名)、親睦と健康増進を目的に活発に活動しています。気軽にできるスポーツですので、社友会会員の皆様、入会して楽しんでみませんか！！

< 活動状況 / 競技結果 >

定例会は毎月1回、原則として第4木曜日午前10時より王冠ボウル(大田原)にて競技会を開催しています。

定例会	第42回	第43回	第44回	第45回	第46回	第47回
実施日	6/25(木)	7/30(木)	8/27(木)	9/24(木)	10/22(木)	11/26(木)
優勝	佐藤 (35)	青木 (50)	山本 (50)	小林 (15)	森 (-10)	野中 (30)
準優勝	千葉 (50)	渋井 (0)	千葉 (30)	中島 (45)	桜井 (30)	矢板 (30)
3位	矢板 (30)	桜井 (40)	森 (0)	野中 (40)	矢板 (40)	桜井 (10)
参加人数	13	13	12	14	13	13

()内数字はハンデ数

< 競技方法 >

3ゲーム総合得点によるハンデ戦。第3回定例会より1位～3位および特定順位の方に賞品を贈呈しています。1位、2位、3位は、-30、-20、-10のハンデを次回以降累積することとし、参加者全員に、できるだけ公平に賞品が渡る様に配慮しています。ハンデ累積は12月迄とし、翌年1月に前年のハンデなし成績を基準として再設定します。昨年は第36回定例会(1月)にハンデをリセットしました。また、優勝した方でマイシューズを持ってない会員にはボウリングシューズを贈呈しています。



第46回定例会参加者



佐藤会員



青木会員



山本会員



小林会員



森会員



野中会員

6月～11月 優勝者

新会員募集中！！

入会金 / 年会費 : 無料 定例会参加費 : 1000円 (ゲーム代・貸靴代)

連絡先 : 【事務局】 千葉 守 ☎ : 090-4618-4141

E-mail : zweimapril@kra.biglobe.ne.jp

新型コロナウイルス感染に注意しましょう！！

新型コロナウイルス感染拡大がなかなか終息しませんが、栃木県保健福祉部健康増進課からコロナウイルス感染に対する注意事項が発信されていますので、下記にその内容を紹介致します。
既に皆様ご承知の事と存じますが、私達高齢者、特に持病（糖尿病、高血圧、心臓疾患等）を持っている人は感染すると重篤化する可能性が高いと言われています。
くれぐれも新型コロナウイルスに感染しない様、日頃から注意しましょう。
最悪、重篤化した場合、死亡する確率も高くなっています。

新型コロナウイルスの感染を予防しよう！！



新型コロナウイルス感染症ってなあに？

これまで、ヒトへの感染が確認されていなかった新種のコロナウイルスが原因と考えられる感染症です。

感染を予防するにはどうすればいいの？

過剰に心配せず、風邪やインフルエンザと同様に、石けんを使ってこまめに手を洗うことが一番重要です。
また、咳などの症状があるときは、咳エチケットを心がけましょう。

咳エチケットってなあに？

咳やくしゃみの症状がある人が、他の人に感染を広げないために、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえることです。

マスクって必要なの？

外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分取れない場合は、症状がなくてもマスクを着けましょう。

感染したかもしれない時は、どこに相談すればいいの？

お住まいの地域を管轄する広域健康福祉センターもしくは保健所に相談ください。

栃木県保健福祉部健康増進課

「社会貢献活動」 川崎城跡公園の下草刈り活動

令和2年10月24日(土) AM8:00より川崎城跡公園の下草刈り活動が実施され、社友会栃木支部からは支部会員7名(河野孝司、岩村、増田、荒田、黒川、山口、後藤)が参加しました。下草刈り活動は毎年3回実施されていましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により1回のみの実施となりました。草も大分伸びていましたが矢板市の各ボランティア団体の人も参加し、総勢23名で実施した為、大変きれいになりました。



草刈り活動開始前の注意事項説明風景



社友会栃木支部から参加の皆様

【表紙説明】

薄氷(うすらい)とは、春浅い頃の薄く張った氷のことです。または、解け残った薄い氷のことも言います。冬の氷と違い、消えやすいことから淡くはかない印象があります。二月十九日寒波の朝、白いモザイク状の氷に出会いました。白いモザイク状の水は解けて色々な擬態が現れ、それらを新しい氷が包み込みます。八時になると朝日が差し込み、赤く焼けた木々が氷に映り込みました。この瞬間に出会えたことに感謝です。夢中になり自分の撮影技術力を全て出し切りました。尚、当写真は二〇二〇プロフォトセンターフォトコンテストでグランプリを受賞する事が出来ました。

撮影…大屋 信幸

長寿 おめでとうございます!!

対象期間 : R2.4.1 ~ R2.9.30

※ 日付は誕生日
数字は会員番号

◆ 喜 寿 ◆

2617	和田 宏	4/12	2677	齊藤 肇	7/18
2650	村上五十六	5/15	2698	郡司 忠一	7/22
3539	福永 勝行	5/18	2691	青柳 一夫	7/26
2660	猪瀬 岩夫	6/29	2684	辻中 親三	7/31
2674	平山 勝	7/14	2744	植月 勇	9/27

◆ 古 希 ◆

5059	印南 敏雄	4/15	5112	河野 順一	6/16
5432	矢板 利一	4/19	5095	山口 勉	7/2
5060	鈴木 敏昭	5/12	5113	花井 忠芳	7/15
5084	滝田 勝美	5/19	5522	大屋 信幸	8/11
6233	黒川 明雄	6/2	5164	豊田 康雄	9/27

【編集後記】

今号は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で社友会の各種行事が自粛となり、掲載記事が少なくなった為、なかなか紙面を埋める事が出来ず苦労をしました。

出稿締切間際になり、コロナ関連記事、支部会員の功労者表彰記事を掲載する事により、何とか二十頁に纏め上げる事が出来ました。

会報作成に当り、寄稿に協力して頂いた会員、そして編集に携って頂いた編集委員の皆様には感謝申し上げます。

まだ新型コロナウイルス終息の見通しが立ちませんが早く治まり、元の生活様式に戻り社友会支部行事も再開出来る様になってほしいものです。

編集長…青木 正和